



Issue on June 1, 2024

もりこう

VOL.54

発行所：大森学園同窓会
 大田区大森西3-2-12
 大森学園高等学校内
 お問い合わせ：TEL 03(3762)7336(代)
 FAX 03(3766)0314
 Mail：info@moriko-kai.jp
 URL：https://www.moriko-kai.jp/
 発行責任者：矢内英彦
 編集責任者：矢内英彦
 題字：山崎正男先生

本校の部活動とボランティア活動をピクトグラムにしてみました!



Designed by Hidehiko Yanai

Contents

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 2 会長挨拶 | 13 令和5年度 潮の光奨学基金寄付金 |
| 2 前校長挨拶 | 13 令和5年度 もりこう会寄付金 |
| 2 米澤理事長先生を囲んで | 14 同窓会役員名簿 |
| 3 新校長挨拶 | 14 キャリアセミナー開催 |
| 3 新教頭挨拶 | 14 卒業生便り |
| 4 令和5年度 クラブ活動報告 | 15 卒業生の広場 |
| 10 令和5年度 ボランティア活動報告 | 15 編集後記 |
| 11 令和5年度 進路報告 | 16 令和6年度もりこう会総会・懇親会のお知らせ |
| 12 令和5年度 もりこう会決算書 | |

会長挨拶

もりこう会 会長 矢内英彦



会員の皆様には、お変わりなくお過ごしのことと拝察いたします。日頃は同窓会活動に温かいご支援、ご協力をいただきありがとうございます。

2024年1月1日に石川県能登地方を震源とする能登半島地震がありました。

お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

また、被災者の救済と被災地の復興支援のために尽力されている方々に深く敬意を表します。

さて、母校は前身の工業学校から戦後の学制改革「昭和23年（1948年）」で新制の高等学校「大森工業高等学校」となり、以来工業界を中心に多くの人材を送り続けております。母校はその後、平成17年に普通科を新設、校名を「大森学園高等学校」に改め、2年後には普通科は共学となり、今日では工業、普通科の両科を擁する学園でありますことは会員諸氏ご承知の通りであります。

もりこう会は大谷前会長（現顧問）の方針を引き継ぎ、同窓会活動のデジタル化を

進めました。クラウドサービスを活用しながら、作業を合理化し、役員と業者、役員間の円滑なやり取りができるようになりました。

一方、総会並びに懇親会の開催等は会員相互の親睦、情報交換など会の目的に沿った活動に繋げるには、会員が集い年齢、世代を超えて交流するところに意義があると考えます。

昨年と同様、総会後は懇親会を実施いたしますので、ぜひ、ご参加ください。

最後になりましたが、会員各位のご健勝とご活躍を祈念申し上げます会長挨拶といたします。

不明な点については、もりこう会事務局（大森学園高等学校内）

〔電話：03-3762-1733〕へお問い合わせください。

前校長挨拶

前校長 畑澤正一



卒業生の皆様には、日頃より大森学園高校の教育にご理解をいただき、心より感謝申し上げます。

私は、平成22（2010）年4月に校長

に就任し、14年間その任にあたって参りましたが、この3月をもって退任いたしました。教頭職6年と合わせると20年になり、長きにわたり職務を全うすることができましたのは、ひとえに皆様の温かいご指導ご厚情の賜物であります。

振り返りますと、この20年間は、80余年の大森学園の歴史の中でも、大きな変革の時でありました。平成17年、大森学園高等学校に「校名変更」「普通科設置」。平成19年、「普通科男女共学」。待望の女子一学期生が入学してきました。そして、同時期の新校舎建築。スタート時の緊張感と生みの苦しみ、慌しさの中にも期待にあふれる数年間でした。

しかし、忘れてならないのが、日本のみならず世界に衝撃を与えた平成23年の東日本大震災と、令和2年からの新型コロナウイルス感染拡大。この大事件は、日本社会のあり方、日本人のものの考え方、そして日本の教育の在り方を大きく変えてしまっ

たと考えています。

長い教員生活の中で、学校内外において素晴らしい人たちと知己になれたことは私にとって人生最大の喜びです。また、「素晴らしい生徒達」と同じ時間を過ごせたことは、何物にも代え難い一番の「大切な宝物」です。手のかかった生徒は何人もいました（私の方がより手がかかりましたね）、大勢の顔が浮かんできます。たくさん思い出があります。皆さんそれなりの高齢になつてきましたので、「お元気」に過ごしてほしいと心より願っています。

4月よりは週何日か学校に来ておりますので、気軽にご連絡ください。大森学園にお世話になり49年。ありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

最後に、石川和弘新校長を中心とする新体制への今まで以上のお力添えと、本校教育活動への益々のご理解ご協力をお願い申し上げます。校長退任のご挨拶とさせていただきます。

米澤理事長先生を囲んで



令和6年3月3日（日）に母校の卒業式があり、米澤正倫理事長と畑澤正一校長の写真を撮影しました。

新校長挨拶

「卒業生の皆様へ」

校長 石川和弘



畑澤前校長の後任として、本年度より大森学園高等学校校長に就任しました。大役を仰せつかり、身の引き締まる思いでございます。若輩者で、至らぬ点多々あるとは思いますが、どうぞよろしく願います。簡単に自己紹介をさせていただきます。

大学卒業後、他校にて非常勤講師・常勤講師を7年間経験したのち、平成5年、大森工業高等学校、数学科(当時は理数科)専任講師として着任しました。翌年専任教諭になり、情報技術科情報処理コース、総合技術科、電気科電力技術コースの卒業担任となりました。平成17年、校名は大森学園高等学校に変わり普通科が設置されましたが、その普通科第一期生の担任を任せられました。その後、学年主任(2年)、普通科特進コース担任(3年)、進路指導部長(4年)、教務部長(5年)、教頭(2年)を経て現在に至っております。その間、高校時代に経験があったということで、前任校に引き続きプラスバンド部の顧問をさせていただきました。昨年、30年の永年勤続表彰を受け、還暦を迎え、色々あった年でしたが、一番の出来事が校長就任の要請でした。

皆さんの校長のイメージとはどんな感じでしょうか。朝礼のときの話が長い、髪の毛が薄めで白髪交じり、ダジャレを言っている、運動会で毎回同じような講評をする、などでしょうか。あと、不思議に思ったことはないですか? 授業をするわけでもなく、部活を指導するわけでもなく、一体学校に来て何をしているのでしょうか。

校長は学校運営の最高責任者です。ただ、学校という大きな組織を一人で運営できるわけはなく、教職員・保護者・卒業生・地域の方々の協力が重要となってきます。校長の一番大事な仕事は、色々な人を巻き込んで、生徒に「この学校に来て良かった。」と感じてもらうための学校づくり、マネジメント力が必要なのです。高度成長期以前では、「教師を指導する教師」という役割が求められていました。しかし今では、学校を変革する手腕、法令や組織運営の知識、透明性・公平さや安心・安全を考えることも重要なポイントになっていきます。社会の変化とともに、理想の校長像も変わってきているようです。

当たり前のことですが、大森学園高等学校は、生徒のことを第一に考える学校でありたいし、そういった学校づくりをしたいと思っています。そのために必要なことは、いかに「共有」できるかではないでしょうか。問題の全くない学校など存在しません。大切なことは、その問題を、教職員・保護者、内容によっては卒業生・地域の方々といかに共有して、対策を立てていくかだと考えます。そういった環境づくりを、具体的な手法を用いて実現するためには、私自身が勉強を重ねるしかないと思っています。今後予想されることは、自分たちの経験だけでは対処できないような未知の時代がやってくるということです。

新教頭挨拶

教頭 小川伸太郎



そういった時代に対応できる力を養う学校になっていくためにも、我々だけでなく、生徒も含めた皆で問題を共有し、問題を解決していく経験を積み重ねられる教育システムを構築していかねばと思っております。卒業生の皆様が誇りに思えるような学校にしていくため、日々努力をしていくつもりですが、そのためには、きつと卒業生の皆様のお力添えが必要となると思っています。どうか今後とも、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

卒業生の皆様には、平素より本校教育活動にご理解とご協力をいただきまして心より御礼申し上げます。今年度より教頭職を拝命しました小川伸太郎と申します。若輩の身でありながら、大役を仰せつかり身の引き締まる思いです。

昨今、学校教育を取り巻く環境は厳しくなっております。働き方、生徒との接し方など枚挙に暇はありません。そんな逆風と捉えられがちな時代ですが、建学の精神「社会に貢献できる有意なる人材を育てる」の

基に、大森学園高等学校の進化・発展を追究して参る所存です。

本校の歴史を大切にしつつ、「変化」進化」と捉え、「変わるべきもの」と「変わらないもの(不変なもの)」に目を向け、取り組みたいと考えております。現状を変えるには「勇氣」や「覚悟」何よりとてつもないパワーを必要とします。20年以上サッカー部の監督をさせていただいた中で部員たちには「現状維持は後退を意味する」と伝えてきました。何かを変化させる時、重複しますがそこには「大きな努力」がかかりますので出来れば避けたいところです。ですが誰もが避けることにこそ、成長のヒントが隠れていると確信しています。

石川校長先生を中心に本校に関わる皆の叡智を集結して発展的变化を目指したいと思っております。その考え方のベースは「大森学園高等学校に入学して良かったと思える学校を創る」です。その先には「卒業生の方々が誇れる学校にする」に繋がります。

在校生たちは勉強することはもちろん、クラブ活動や課外活動など各方面で活躍しています。学校からも出来る限り情報発信を心掛けてまいりますので、卒業生の皆様におかれましては、是非彼らの活動を応援していただけますようお願いいたします。

本校の更なる進化は教職員、生徒、保護者、地域の方々、そして卒業生の皆様の力なくして成し得ません。何卒、変わらぬご協力をいただけますようお願いいたします。

最後になりますが、卒業生の皆様のご健康とご活躍を祈念して着任の挨拶とさせていただきます。





令和5年度クラブ活動報告



運動部



◆サッカー部

更なる高みを目指し、新しい景色へ

令和5年度主な大会実績

関東高校サッカー大会東京都予選

●112 創価

全国高等学校総合体育大会東京都予選

○810 正則

○510 都立日比谷

○110 都立東

○210 日体大荏原

●112 東京朝鮮 ※東京都ベスト20

全国高等学校サッカー選手権大会東京都予選

○110 創価

○211 都立高島

●112 修徳 ※東京都ベスト8

高円宮杯JFA U-18サッカーリーグ東京T4

Aブロック第3位 全体第6位

今年も沢山のご声援ありがとうございました。改めて「勝つことの難しさ」を感じた1年ではありましたが、3年生のチャレンジ、そして選手権で見せてくれたスピリッ

トを受け継ぎ、更なる高みを目指します。そして2024シーズンこそ、学校、応援して下さる方々とともに『新しい景色』を見たいと思います。

(監督・顧問・小倉鋭也)



◆野球部

令和5年度春季東京都高等学校野球大会

1回戦 対大成 4-1

2回戦 対4校連合チーム 14-0 (5回コールド)

3回戦 対世田谷学園 4-2 (選手権大会シード獲得)

4回戦 対聖パウロ学園 5-7 (ベスト16)

第105回全国高等学校野球選手権大会東京都大会

第4シード

3回戦 対東海大高輪台 8-0

4回戦 対明大中野 6-10

令和5年度秋季東京都高等学校野球大会

ブロック予選 対海城 10-2 (7回コールド)

代表決定戦 対佼成学園 0-10 (6回コールド)

令和5年度は「今誇れ、一人一灼全員主

躍」というスローガンを掲げて、3年生

35名・2年生33名・1年生21名の89名で

活動してきました。遠方からの通学者もお

り、多くの志高い部員が門を叩いてくれて

大所帯となり、チーム内の競争も激しいも

のなっています。

春季大会でベスト16入りをし、選手権大

会のシードを獲得することは出来ましたが、

その先に進む事は出来ませんでした。春季

大会の悔しさを力に変えて臨んだ選手権大

会

会

会

会

会

会

会では、強豪校がひしめき合うブロックとなり、3年生の力で大きく躍動しましたが4回戦敗退となってしまいました。大田スタジアムや神宮球場での生徒・保護者・卒業生などの大応援団は選手の手力となりました。ご声援ありがとうございました。

来年度は規定変更で反発係数を抑えた新規格のバットに変更され、高校野球の形が変わっていく事が考えられます。本校は春季大会、ブロック予選からの戦いとなりますが、最低でも選手権大会のシードを確保し、選手権大会では過去最高戦績（準優勝）を塗り替えて東京を制するチームとなる決意を持っています。

平日は授業終了後に近隣のグラウンドに移動して練習、週末には関東各地の強豪校との練習試合を行っています。年末には有隣寮（茨城県稲敷市）で冬季強化合宿を実施し心身ともに追い込んで大きく成長しました。

野球人口の減少が叫ばれる昨今ですが、学校や地域から応援される嬉しいチームとなり、野球の素晴らしさや楽しさを体現できるチームとなります。令和5年度も多くの声援ありがとうございました。

(監督・顧問…石黒隼)



◆硬式テニス部

令和5年度は3年生5名（うち女子2名、2年生10名、1年生9名、合計24名で活動しました。最上級生が少人数だったので、人数が多い後輩たちをまとめるのに苦労していた時期もありましたが、1年生の頃から練習に対してとくに真面目に、ひとつひとつのことを丁寧に取り組んでいた代でもあり、5月に引退を迎えるまで、下級生にいい背中を見せてくれていたと感じています。女子部員2名（うち1名はテニス未経験者）も、1年生の仮入部のおかげからほとんど練習を欠席することなく努力を重ね、最後の公式戦（4月中旬）では念願の「ダブルスで1勝」を実現することができました。戦績としては、5月中旬の東京都高等学校テニス選手権大会（団体の部）では初戦敗退という結果でしたが、夏以降に実施された私学リーグ戦では下部リーグながら1位となり、令和6年度は1つ上の5部に昇格となります。また、9月中旬の東京都高等学校新人テニス選手権大会では1年生が3回戦まで進出し、今後の成長が楽しみです。

毎年のことですが、高校から硬式テニスを始める部員も多いため、経験者と初心者先輩と後輩が切磋琢磨し、互いに成長し合える関係を築けるようなチームを目指しています。また、自分で考えて上級者相手でも工夫をして戦える選手が増えるよう、技術のみならず精神面も鍛えていきたいと思っています。今後とも応援よろしく願っています。

(顧問…鳥谷志乃)

◆卓球部

令和5年度は、3年生が所属しておらず、2年生男子2名、1年生男子8名での活動となりました。土日を含む週5回、イベントホールで活動していました。久々2年ぶりに団体戦に参加できるようになったこともあり、ユニフォームを新調し試合に臨みました。大田区大会では優勝したものの、関東予選、インターハイは振るいませんでしたが、新人大会で、ダブルスは東京都でベスト64、団体戦ではベスト32を取ることができました。本校卓球部の歴史で初めて団体戦のシード権を獲得できました。

令和6年度も活躍し東京都団体戦ベスト16を目指していきます。1回1回の練習の質を上げていきたいと思っています。応援よろしく願っています。

(顧問…佐藤明彦)



バドミントン部

令和5年度は3年生が10名、2年生が14名、1年生が8名、合計32名の部員数で活動を開始しました。高校入学と同時にバドミントンを始める部員の数の方が圧倒的に多い中で、毎日懸命に練習に取り組んでおります。

関東大会予選（2複1単）の結果は、男子は2回戦進出、女子は残念ながら1回戦敗退となりました。3年生最後の大会であるインターハイ予選（2複3単）では、男女ともに1回戦敗退となりました。

しかし、インターハイ予選男子シングルス個人戦（田中颯人）では、第8ブロック決勝戦まで駒を進めることができました。

3年生が引退し、代替わりした新人戦では、女子個人戦ダブルス（江波戸・平石ペア）が、ブロック準決勝進出、その後の女子団体戦（2複1単）では、東京都東ブロックでベスト16を達成しました。昨年度、1年間我慢を重ねて懸命に練習してきた女子部員たちは大森学園女子バドミントン部の歴史の中で、素晴らしい金字塔を打ち立てることができました。

男子部員も女子部員が達成した結果に影響を受け、さらにモチベーションが上がってきています。部活動を通して、お互いが協力しながら支え合えるような関係を築き上げられるように顧問も伴走、補助していく所存でありますので、今後ともご支援、ご協力どうぞよろしく申し上げます。

（顧問：岡本卓也）

剣道部

令和5年度は2年生5名、1年生1名（男子6名、女子0名）で活動しました。厳しい稽古を通して互いを尊重し、学び合い、教え合いながら少しずつ自律した剣士へと育っています。

部員が少なく、また剣道場がないという限られた環境で稽古しなければなりません。その中で部員たちは互いに刺激し合い成長しております。初心者3名は慣れない体捌きに苦戦し、時には怪我をすることもありますが、勝利という目標に向かって日々鍛錬しています。大会や昇段審査に向けて、基礎基本を中心に理論と実践の往還による剣道を目指して稽古してきました。卒業生に稽古に参加していただくことも増え、さらなる成長が期待できます。今後とも応援、ご支援、ご協力をよろしく申し上げます。

（顧問：村井俊輔）

男子バレーボール部

【令和5年度バレーボール部結果】

- 関東予選 ベスト16
- 関東大会 出場（千葉県）
- インターハイ予選 ベスト16
- 都私学大会夏 ベスト16
- 全日本選手権大会 ベスト16
- 都新人1次大会ブロック優勝（ベスト8）

全国私学男女バレーボール選手権大会出場

3年生が、残してくれた結果を越そうと新チームがスタートしました。今回大森学園として5年連続関東大会出場も果たすことができました。

部員も30名を超え、大所帯となったのはうれしい限りです。平均身長がそれほど高いわけでもないのに、レシーブ力をあげ、拾ってつなぐバレーを追求しています。

これからも精進していきますので応援の程よろしくお願いいたします。

（顧問：尾島寛）



陸上競技部

令和5年度は3年生が4名、2年生が2名、1年生が3名で活動しました。陸上競技には、短距離・中長距離だけではなく、跳躍・投擲・ハードルといった様々な専門種目があります。みな各々の専門種目に分かれないながらも、互いに切磋琢磨してきました。

令和5年度は、男子やり投げで1名が都大会出場を果たしています。また、その1名が9月の都新人大会で決勝に進出しました。その結果、強化選手に選ばれ、冬と春の強化合宿に参加しました。

限られた練習環境の中で、工夫してトレーニングに打ち込んでいました。冬季トレーニングでは、砂浜や近隣の公園まで足を運ぶ、そこからできるトレーニングやどうすれば練習の質をあげられるか考え、生徒たちもメニューを作成していました。休日練習では競技場へ足を運び、専門的な技術トレーニングや走持久力を高める練習を取り組みました。

令和6年度は1人でも多く都大会出場やさらに上位の大会に出場できるように努力していきます。今後ともご声援のほどよろしく申し上げます。

（顧問：竹下直秀／和泉夏妃）



男子バスケットボール部

令和5年度は3年生が4名、2年生が7名、1年生が11（マネージャー1）名で活動しました。部員数が今までよりも多くなったため、公式戦用のユニフォームを追加購入しました。

選手各々が主体的に目標に向かって努力できる環境、また部活動に対して真摯に取り組める環境づくりを目指し、実のあるミーティング、週4回の練習を通じて個人としての成長とチームとしての成長を図りました。また、他校との練習試合を通して自分たちのチームの課題点を見つけるとともに、日々の練習の成果を実感してきました。

公式戦は4月（関東予選）、5月（IH予選）、9月（第7支部私学大会）10月（新人戦）、2月（アースフレンズカップ（大田区大会））で5度あり、新人戦では3回戦までコマを進めることができました。

これからも日々練習を重ね、部員同士切磋琢磨してチーム力を高めていくとともに良い結果を報告したいと思えます。OB・OGの皆様、引き続き応援よろしくお願ひ致します。

（顧問：名取純哉）



女子バスケットボール部

顧問：佐藤緑子・小平晃大
部員：3年／6名・2年／5名
※1年生 原稿執筆時仮入部期間のため記載なし

活動日時：毎週 月・水・金
土↓放課後 日↓月1〜2回練習試合

顧問より：部員が少ないため、佐藤が男子バスケット部だった時の卒業生やOGが



参加してくるの毎毎年助けられています。令和5年度には、数年ぶりに走る・走る・走り続ける夏合宿（通い合宿）を行いました。

涙を流す者もいましたが仲間の助けで脱落者もなく終了時には達成感を味わいチームが団結しました。令和6年度現在、2・3年計11名中4名が初心者ですが総力戦で関東予選大会1回戦突破中。今後も一つでも多く勝てるよう練習に励んでいきます。学校に来た際は体育館まで足を運んでいただき懸命に取り組んでいる部員の様子を是非見に来てください。お待ちしております。

（顧問：佐藤緑子）

女子バレーボール同好会

令和5年度は3年生2名、2年生2名の4名に1年生2名が加わり、スタートしました。令和3年度より蒲田女子高等学校（現・羽田国際高等学校）と合同チームを組み、各大会に出場しています。なお、令和5年度については、5月に行われた東京都総体予選を単独チームで出場しました。以下、大会結果です。

●春季大会兼関東大会予選

（4月23日に開催、合同チーム）調布南、第五商業高校との3チームリーグ戦で2位 春季2部大会棄権

●東京都総体予選全国総体予選兼国体予選

（5月28日より開幕、単独チーム）一回戦 対 渋谷教育学園渋谷高校 1-2（フルセット負け）

3年生今大会で引退

●夏季大会（8月19日および20）

部員数が6名に満たず、欠場。●新人選手権大会予選

（11月5日に開催、合同チーム）昭和第一、朋優学院高校と対戦、3チームリーグ戦で3位となり、敗退。

令和6年度は、新入部員数を増やし、単独チームで出場できるよう頑張つて参ります。

（顧問：高着隆）

チアリーディング同好会

令和5年度は3年生4名、2年生2名、1年生5名の11名でスタートしました。主な活動は学園祭でのステージ発表、野球応援、体育祭での演技発表です。1番の発表の場である学園祭ではイベントホールで演技し多くのお客様に拍手をいただきました。令和6年度は大会参加も視野に入れ、よりレベルの高い演技ができるよう活動してまいりたいと思います。

（顧問：宮崎紀子）

文化部

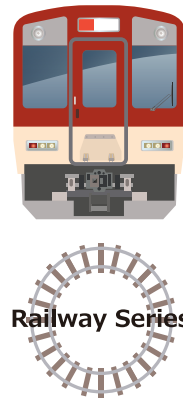


鉄道研究部

令和5年度は3年生2名、2年生6名、1年生2名の合計10名の部員で活動しました。近年では、おもな活動内容として学園祭に向けた大型レイアウト製作やNゲージ車両製作、部員が持ち寄つての鉄道模型運転会など、週2回の活動を行っています。全国高等学校鉄道模型コンテストに向けて作品の製作を行い、本年度も作品を出展しました。奨励賞という結果でしたが、本年度も部員たちは多くのことを学べたと思います。「撮り鉄」の部員も増え、個人で積極的にコンテストに応募するケースも出てき

ています。伝統を大切にしながらも、部員の興味・関心に合わせて活動内容も少しずつ変化し続けています。ぜひOBの皆様も機会がありましたら、本校の鉄道研究部にお立ち寄りください。お待ちしております。

(顧問・須藤健)



◆ 模型部

令和5年度の模型部は、3年生3名、2年生0名、1年生4名の計7名で活動しました。

1学期は学園祭における作品展示の準備を中心に行いました。ミラタリー、ガンダム等を制作し、展示しました。

2学期は体育祭校友会リレーのバトンの代わりに、ガンダムのお面を作りました。講習がありひとりで活動するときもありましたが、他の部活の生徒が遊びに来て、それなりに楽しんで活動していたように思います。

楽しんでやる部なので、人数は多い方が色々な情報交換もできるし楽しめると思います。新入部員が入ってくれることを願います。

(顧問・山之井義和)

◆ ブラスバンド部

ブラスバンド部です！令和5年度のコンクールは東日本組に挑戦しました。まだまだ壁は高く、銅賞という結果に終わってしまいましたが、全部員目標を高く持ち、一生懸命にチャレンジしました！1年生も13名が入り、モチベーションを高く保ち、熱心楽しく活動を行っています。また、先日の定期演奏会では300名を超える方々に、来場いただけました。ご来場いただきました皆様ありがとうございました！令和6年度も自分たちも楽しみながら、聴いている方々を楽しませる演奏を披露していきます。そして今年度こそコンクール、アンサンブルコンテストどちらも金賞！定期演奏会において2階席も満席！これらを達成すべく頑張っていきます。これからも応援よろしくお願いします。

(顧問・赤松祐治)

【令和5年度活動実績】

- 5月 諏訪神社お祭り
- 7月 野球応援
社会を明るくする運動
- 8月 東京都高等学校吹奏楽コンクール
東日本組銅賞
- 9月 体育祭
- 11月 大田区吹奏楽祭
紙ひこうきコンテスト
- 12月 東京都高等学校アンサンブルコンテスト銀賞(2チーム共に)
- 3月 第9回定期演奏会



◆ 自動車部

【自動車部大会報告】

● Honda エコマイレッジ2023
第42回全国大会 9月9日(土)・10日(日)
栃木県にあるモビリティリゾートもてぎ「スーパースピードウェイ」にて、エコマイレッジマラソン競技の全国大会が開催されました。この競技は、決められた距離を時間以内に走行し、燃料消費量の少なさを争います。本校からは、2台が出場しました。B号車は2019年にデビュー以来5年目で初完走しました。

A号車	772 km/ℓ	15位/83台
B号車	530 km/ℓ	20位/83台





●2023 Eneer1MOTEGI GP
10月14日(土)・15(日)
栃木県にあるモビリティリゾートもてぎで『西コース』で単三形充電池乾電池40本を動力源とした競技が行われます。競技は「タイムアタック(予選)」と「決勝レース60分」の合計ポイントで競います
大会当日は台風によりタイムスケジュールの大幅な変更がありました。まず、タイムアタックは参考という事で、グリッド順は抽選になりました。決勝レースではスタートと同時にブレーカーが落ち、約4分のタイムロスで最下位スタートになりました。その後、順調に計画通りの走行ができ、高校6位入賞を果すことができました。
タイムアタック 3・0・1 8位/50台
(参考) 抽選により20位スタート、ポイントなし
決勝レース 23周 11位/50台
総合 11位/50台・高校6位

令和6年度も引続き各種大会に向けて頑張つて参りますので、応援よろしくお願ひします。
(顧問・齋藤正英)

◆パソコン研究部

令和5年度3年生しか在校生がおらず、彼らが卒業した後は部員ゼロ人という状態で開始した令和5年度でした。しかし体験入部に来てくれた生徒4名がそのまま正式に入部し、休むことなく活動に参加してくれるようになりました。ゲームを作る、ロボット制御に興味を持つ、音楽の打ち込みが、和気あいあいと楽しそうに活動しており、また学校行事なども気持ちよく手伝ってくれるなど顧問としても頼もしく感じています。成果物を外の世界に発表するなども見据えていきたいと思ひます。
(顧問・石川昌広)

◆書道同好会

令和5年度当初は新入部員の確保が叶わず、前年度に引き続き休部状態でスタートしましたが、2学期後半に1年生の男子が入部してくれ、マンツーマンでの指導・活動を開始することができました。

彼の希望は、将来の夢を思う時、美しく見易い文字を書けなければ仕事が成り立た

ないので、是非ともそこを目指したいというものでした。よって、彼には中国は唐代の品格のある楷書を手本として提供し、まずはその模写に徹してもらいました。センスのある生徒で、真面目に取り組んでもいるので、もう今は半切サイズの紙に楷書の作品を制作するまでに成長しています。

令和6年度も、4月20日現在で新たな顔を見ることはできていませんが、大切な2年生男子部員とともに学園祭での展示発表を企て、魅力的な雰囲気醸成を思っています。そしてその空気に魅了されて、門を叩く生徒が1人でも2人でも現われることを期待しています。
(顧問・荻毛伸哉)

◆放送演劇同好会

令和5年度の放送演劇同好会は、新たに2名の1年生を迎えて活動を開始しました。放送演劇同好会は、朗読・アナウンス・演劇などの部門で部員たちが自分のやりたいことを行い、最終的にはコンテストなどへの参加を目指す同好会です。今年度は学園祭では全体アナウンスとステージでの演劇『三匹の子豚裁判』を行い、体育祭では司会進行の一切を引き受けました。また、2学期に行われた学校説明会では、放送機器全般の裏方仕事をを行い、すべての説明会に参加しました。Nコンなどの大会には参加しませんでした。令和6年度以降は参加も視野に活動していきます。

今後も放送演劇同好会の活動にご支援をいただけますよう、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。
(顧問・田中健太郎)

◆美術工芸部

令和5年度の美術工芸部は3年生2名、2年生6名、1年生4名で、例年通り学園祭における作品展示を中心に楽しく活動させていただきました。その中で特筆すべきことを2つ挙げさせていただきます。

●2年生部員が2名、横浜の専門学校主催のキャラクターイラストコンテストにおいて優秀賞を受賞したこと。

●3年度の卒業生以来久しぶりに男子部員が3名も加入したこと。

今後も各人の思い思いの表現を暖かく見守っていただけますと幸いです。
(顧問・木村尚徳)

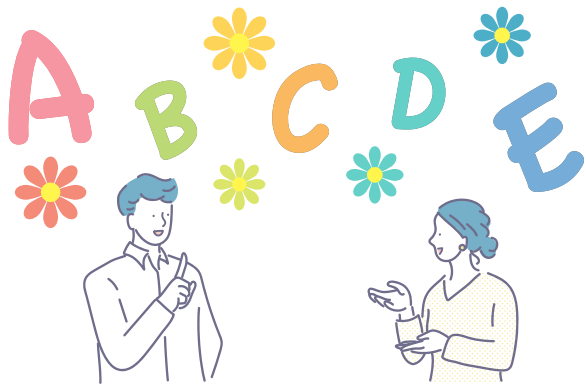
◆ESS同好会

ESSは、English Speaking Societyの頭文字を取ったもので、英語を話すことを目的とした部活動です。令和5年度は2名の新入生を迎え、週に2回、Jawan Thompson先生とともに、英会話のテクニクを学んだり、実践したり、様々なトピックについて英語で意思疎通を図ったりしています。

一般的にE S Sは、スピーチ、ディベート、ドラマのコンテスト出場を目指して活動する部活です。学園祭ではステージ企画の合間にCMとして英会話のコツや英語のジョークを放映しました。また、字幕コンテストや英字新聞コンテスト、英語プレゼンテーションコンテストに応募しました。残念ながら結果には繋がりませんでしたが、全員が1つの目標に向かって活動する貴重な機会となりました。来年度もE S Sが多様な場で活躍し、単に英語を楽しむだけでなく、英語運用能力の向上にも励みたいと思っております。

今後もE S Sの活動にご支援をいただけますよう、引き続きよろしくお願い申し上げます。

(顧問：木村健太)



令和5年度 ボランティア 活動報告



車いすメンテナンス

令和5年度は3年生3名、2年生2名1年生1名で活動しました。新型コロナウイルス感染症が5類へ移行されたことにより、コロナ以前の活動も徐々に活動していることを今年度の目標とし日々の活動をしてまいりました。12月からは、大田区にある「矢口住宅サービスセンター」にて訪問修理やメンテナンスをほぼ毎月行うことも出来ました。現在の部員は、訪問修理の経験が無いため準備の時からいろいろと戸惑いをしていましたが、車いすを利用されている方々と対面しながらの修理をしたことで「ありがとう」などの感謝の言葉を直接耳にし、普段の活動の活力にもなりました。今後は訪問修理先をもう少し増やしながらも技術向上のため車いすの修理だけでは無く新しい事にも挑戦をしていきたいと思えます。

(顧問：高橋慶太)



おもちゃの病院

おもちゃの病院は、「開院」と称して、近隣の子供たち・児童館・保育園等のおもちゃを無料で修理するボランティア活動を、毎月の指定日に校内で開いております。活動日の告知から、受付↓修理↓修理の完了連絡をすべて生徒のみで行います。簡単に修理ができない複雑なものは「入院」と称して、週3回の活動日でよみがえらせていきます。近年のおもちゃは、複雑な動きをするものが増えており、そのため使用されている部品の数も多く、高度な修理技術が求められるものもあるため、様々な修理に対応できるように夏休みなどを利用して、技術力を上げるための講習会を実施しております。修理方法も以前と比べて、だいぶ変化をしてきました。近年では3Dプリンタを活用



用して破損している部品を作成するなど、各々のおもちゃに適した修理方法を選択しながら大切な「おもちゃ」がよみがえるように努力しています。昨今は、モノの価値が安価なものを購入して、目的が達成すればすぐに破棄をする、大量生産・大量消費の考え方が浸透していますが、「たいせつ」なものを長くつかう気持ちも大切にできるように活動しています。

今年約50個のおもちゃの息を吹き返すことができました。修理活動以外にも、近隣で実施される工作教室で、子どもたちと一緒にものづくりの楽しさ、大切さを共有できるような活動も行っています。

自分たちが学んできている知識を、求めている方々に貢献できるように。これからも多くの方々に「ありがとう」と言ってもらえるように、活動していきたいと思えます。

(顧問：百瀬浩一)

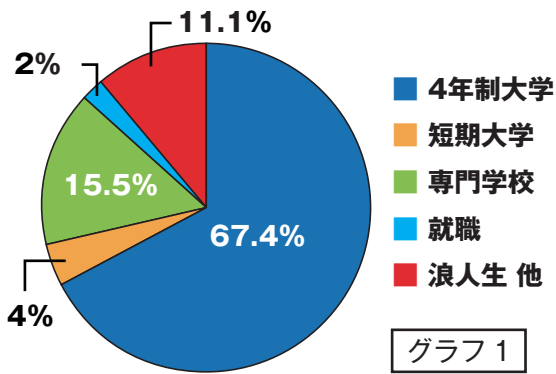


令和5年度 進路報告

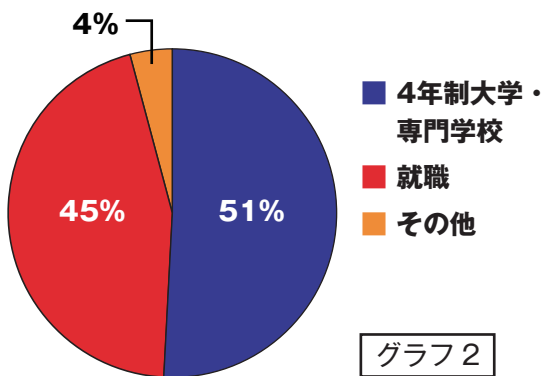
もりこう会の同窓生の皆様にはますますご健勝にて、各方面にご活躍のことと拝察申し上げます。進路指導部より、茲に令和5年度卒業生の進路状況をご報告させていただきます。

この春の卒業生総数は「182名」。「グラフ1」でわかるとおり、普通科では「67.4%」が4年制大学に進学し、短期大学、専門学校への進学がそれぞれ「4%」「15.5%」という結果となりました。惜し

普通科進路状況



工業科進路状況



くも浪人して再チャレンジする生徒の割合は「11.1%」にのぼり、この割合を減らしていくことも今後の課題です。また、工業科については「グラフ2」にて示したとおりですが、4年制大学と専門学校とを合わせた進学割合が「51%」で、就職割合の「45%」と拮抗しています。進学するにしろ就職するにしろ、そこには「整合性」のある進路選択が為されなければなりません。これからも微に入り細に入る指導を徹底しなければならぬと考えております。

大学合格状況は「表1」に示したとおりです。私立大学は、ここ数年間は上位校に安定的に合格者を輩出することができており、また、国立コースが昨年比半減の中で、国立大学合格結果も比較的に芳しいもの

【表1】 令和5年度 大学合格実績

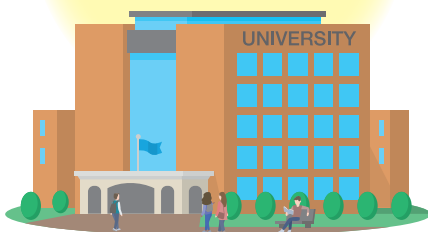
国公立大学	人数
北海道大学	1
横浜国立大学	1
都留文科大学	2

私立大学	人数
早稲田大学	1
東京理科大学	2
中央大学	4
明治大学	3
立教大学	5
成蹊大学	1
武蔵大学	4
明治学院大学	2
國學院大学	1
日本大学	12
東洋大学	6
駒澤大学	8
専修大学	4

であったと評価できると思います。生徒個々の努力と精神力、そして先生方の粘り強いご指導に敬意を表したいと思います。
就職について特筆すべきことは、「京浜急行株式会社」・「東京地下鉄株式会社」・「株式会社関電工」・「三英電業株式会社」・「株式会社富士通ゼネラル」・「日産自動車株式会社」・「住友重機械搬送システム株式会社」・「株式会社電巧社」など、生徒たちが在学中に獲得した専門知識を活かせる就職を実現できていることです。面接指導をはじめ、

多角的にご指導くださった先生方にも心より感謝申し上げます。
本校は「整合性のある進路指導」を心掛けています。点的な生活を繰り返して「将来を何となく決める」ことをなるべく排除し、生徒が未来の自分と現在の自分とを線で繋げるようにしていかなければなりません。保護者にも協力を仰ぎながら、これからもその目標に向けて揺るぎなく尽力していく所存です。
(進路指導部部长：蓑毛伸哉)

他多数の
大学に合格!



令和5年度 もりこう会 決算書 (自:令和5年4月1日~至:令和6年3月31日)

本誌では掲載しております

令和5年度 もりこう会寄付金(敬称略)

令和5年度 潮の光奨学基金寄付金(敬称略)

本誌では掲載しております

寄付者の皆様、ご協力ありがとうございました。

同窓会役員名簿

- 顧問：大谷 正勝 電気科
- 相談役：東野 武雄 電気科
- 会長：矢内 英彦 情報技術科
- 副会長：渡辺 亮 電気科
- 副会長：秋葉 美典 機械科
- 会計監査：西山 慎吾 機械科
- 会計監査：網川 英樹 電気科
- 常任幹事：勝島 憲三 電気科
- 常任幹事：山本 隆彦 電気科
- 常任幹事：井上 良男 電気科
- 常任幹事：十文字 幸雄 情報技術科
- 常任幹事：須山 健二 情報技術科
- 常任幹事：浅沼 徹 電気科
- 常任幹事：根日屋 諒 総合技術科
- 常任幹事：緑川 絵梨 普通科
- 事務局長：百瀬 浩一 電気科
- 事務局員：猪狩 清 普通科

令和6年6月1日現在



キャリアセミナー

開催
講演日：令和5年11月15日（水）
7時間目

毎年、2学年を対象に活躍されている先輩方を母校にお招きし、普通科・工業科各クラス対象に進路選択のアドバイスや貴重な経験などを約40分間に亘って講演していただきました。

写真は各クラス内の様子の一コマです。



卒業生便り



2014年3月電気科卒業
(平成25年度卒業)
2014年4月～2018年
3月 工業科実習助手

早坂 健太

当日は、自らの経験を踏まえ、「好きなことのかげ算」という観点から進路選択の重要性についてお話をさせていただきました。私は、進路選択において、一人一人の個性や得意、不得意というのは非常に重要だと思っています。



例えば、「勉強全般に苦手意識があるけれど、実習では力を発揮する」という学生もいれば、「英語よりも数学の方が得意」という学生もいます。こうした個々の特性を理解し、活かすことが進路選択において大切だと私は思っています。

現代社会においては、多種多様な企業や職業が存在し、進路選択の幅は以前にも増して広がっています。これにより、自分に合った進路を見つけることは一層複雑で難しい課題となっていますが、この豊富な選択肢は同時に、自分自身の興味や得意を反映させた、よりフィットするキャリアパスを見つける大きなチャンスでもあります。

私がキャリアセミナーで伝えたいかったのは、自分自身の「好き」と「得意」を深く理解し、それらを掛け合わせることで、自分だけのユニークな価値を生み出し、満足のいくキャリアを築くことが可能だということです。私自身も、この考え方に基づいて進路を決定しました。

進路選択は自身自身と向き合う大切なプロセスです。多くの可能性の中から、自分にとって最適な道を見つけ出すことができるよう応援しています。



卒業生の広場

母校、学園祭開催に併せて、同窓会（もりこう会）も毎年「卒業生の広場」を開設し来校された卒業生の語らいの場所として利用されております。令和5年度の学園祭は6月17日（土）・18日（日）の2日間で行われ、卒業生が多く訪れてくれました。来場された卒業生にはドリンクとお菓子を提供しました。

今回は、ハンドメイド同好会の生徒たちが手伝ってくれました。ありがとうございました。

これからも多くの卒業生に来ていただけるように、企画を検討して行きたいと思っております。（事務局より）



編集後記

もりこう会 会長 矢内英彦

会報を若い世代にもっと読んでもらいたいと考えました。

表紙を今までと違うキャッチーなものにし、部活動とボランティア活動の報告に顧問の先生の氏名を掲載するようにしました。表紙のピクトグラムは、私がアドビイラストレーターでイラストを描き起こしました。いかがでしたでしょうか？

役員と事務局から改善点などの提案が多くあり、頼もしさを感じました。今後の会報などに活かしていきます。そして同窓生の皆さん、どうか最後まで読んで頂き感想などお寄せ頂けたらと思います。

下記QRコードからアンケートフォームに飛びます。スマートフォンなどから記入をお願いします。



米澤理事長先生、大谷顧問（前もりこう会会長）をはじめとする方々との対談をWebサイトで掲載することも検討しています。次号では先生の記事を会報に掲載しようと画策中です。今後ともご期待ください。末尾になりましたが、今回ご協力いただきました役員、事務局、先生方には心より感謝申し上げます。

もりこう会ならびに奨学基金へのご支援ご協力のおお願いについて

会長 矢内英彦
他役員一同

会員の皆様には、平素より本会諸活動に温かいご支援ご協力をいただき誠に有難うございます。さて、もりこう会（以下本会と称す）では会報送付時に「本会」ならびに「潮の光」奨学基金へのご支援をお願い致しております。この度も恐縮ではございますが、倍旧のご支援ご協力を賜りますよう、役員一同心よりお願い申し上げます。

- 指定の払込取扱票（赤色）を使用し、郵便局窓口・ATMで「ゆうちょ銀行口座の通帳・カード」扱いはまたは現金での払込は払込手数料が無料となります（2024年1月22日以降、ご負担いただいている加算料金を廃止）。
- 同窓会報寄付者名簿への掲載を御希望されない方は払込取扱票に一筆御記入をお願い致します。

★ 卒業生の皆様へ ★

令和6年度 もりこう会 総会・懇親会のお知らせ

- 日時／6月29日 土曜日
- 会場／母校 大森学園高等学校
(駐車場・駐輪場はありません)
- 受付／午後2時
- 総会／開会 午後2時30分
- 懇親会／茶話会を行う方向で検討しております
※詳細は同窓会ホームページを参照してください



皆様へお願い

ご出席の方はお手数ですが同窓会ホームページより
手続きをお願い致します

こちらのQRコードからもアクセスできます▶
※ホームページでの手続きができない方は
事務局までご連絡をお願い致します

